



大場洋介 議員

# 居場所の確保と 対応の充実を

## 回答 「チーム学校」で支援拡大

**不登校児童・生徒への支援と課題は**

大場洋介議員 全国的に不登校の児童生徒が急増している。文科省が発表し24年度からの不登校対策「COCOLOプラン」を前倒しの形で、進めるべきである。家庭と子供の支援の現状を伺う。

教育長 当町としても高止まり傾向であり、大きな教育課題である。「不登校プロジェクト委員会」を定期的に開催し、組織で対応する研修や福祉の専門家を雇用し、児童生徒のところに寄り添った支援

しない場所の確認作業はしていないため、区長や教員課と相談したい。

中村忠行議員（82号）

DX推進においてペーパーレス化を進めるため、県からの配布物をデータで送ってもらえるよう副町長から関係各所に働きかけてもらえないか。また、情報は

特定する関係者にのみ配信できるのか。

副町長 県では現在、紙ベイスとホームページ掲載もしており、すぐに100%ペーパーレスとはならないと考える。それを踏まえ、他町村の状況を確認しながら機会をとらえて相談を検討したい。



官民が連携した除排雪

総務課長 グループ分けの配信は、町側が条件を拾うことができれば可能であるし、受け取る側が情報を取捨選択できる形になると考える。

須藤典夫議員（83号）

広域連合職員のミスにより、国民健康保険料の算定を誤った事例が発生し、連合の損失となった。職員は口頭で注意を受けたが、正副連合長の責任の所在が不明確では。

町長 連合自体の処分基準はないが必要性は感じる。処分は連合長の自治体に合わせて行い、副連合長3名が了承する形である。今回は真室川の処分基準に従ったが、他の自治体でも極端には変わらない。

【議第89号】質疑なし

【議第90号】

宮林聡志議員 公の指定管理には予算の議決が必要であるため3月に契約するのが通常であるが、なぜ12月に提案したのか。今回は取り下げ3月に再提案してはどうか。

産業課長 9月にグリーンバレーの方針が定まり、今後も民間にお願いする事を踏まえて、できるだけ早い段階で正式に決定し、2年継続する前提で来年度の準備を進めて頂くような主旨であった。

町長 今年の状況を見ると、更に集客が伸びていく期待が持てることから、引き続き指定管理者をお願いしたい意向である。議決頂ければ次年度に向けた準備や計画も早めに立てられることを考慮した提案である。

【議第91号】質疑なし

【議第92号】質疑なし

便性に課題がある。推進する背景と計画の意義・見解について伺う。

町長 人口減少と高齢化が深刻化する中で、人的労力の不足を補いながら持続・発展する上でも自動化や効率化を図るデジタル技術の力によって町民の生活がより幸福なものに変革していくと考えている。

地域で有効活用されるデータのオープン化への所見は

大場議員 地域活性化のために過去の分析・現在の把握や予測などのデータを活用し、着実な実効性と独自の魅力発信を進めるべきでは。

総務課長 人口推移などの公開可能なデータを利用、誰でも撮影・投稿できるアクションカメラ等の機器の整備を考えている。



学びの場の連携「セラピーファームめぐたま」

け止め方研修などを予定している。

学校給食費無償化への思考の変化は

大場議員 政府のこども未来戦略会議において、子育てへの経済的・精神的負担感や子育て世代の不公平感が存在するとし、学校給食費の無償化への方針が示された。給食費無償化での自治体間の格差があるべきでないため、検討に向けての思考の

自治体DX推進計画の現状と課題は

大場議員 DXの目的は町民の利便性の向上に繋げる観点から期待しているが、高齢者やデジタル弱者にとってのメリットが不透明であり、理解や浸透・利